

# タンゴ・ミクサー

TANGO MIXER

(アメリカ)

タンゴは、西アフリカの黒人の踊りのリズムに起源を發し、それがスペインに伝わり、さらに19世紀末にアルゼンチンのブエノス・アイレスを中心に發達して今日のアルゼンチン・タンゴとなった。これに対してコンチネンタル・タンゴは、特にスペインのアンダルシア地方のジプシーたちの踊りに取り入れられ、タンゴ・アンダルシアとしてヨーロッパに広まった。齒切れのよい、激しいリズムをもったアルゼンチン・タンゴとは対照的に、あくまで大陸的に優雅な叙情緒をたたえた曲が多い。

このタンゴのメロディーに合わせてオルガ・クルビッキー (Olga Kulbitsky) が發表した踊りである。スロー・ステップとクイック・ステップで組み合わされた簡単な楽しい踊りである。

◆音 楽 2/4 拍子。前奏 8 呼間。1 回の踊り 32 呼間。全曲で 10 回踊れる。

◆隊 形 ダブル・サークル。男子円内、女子円外で LOD を向き、バルソビアナ・ポジションに組む。

◆ステップ ヒール・ポイント、トー・ポイント、ウォーキング・ステップ (ウォーク)。

## ◆踊り方

### I. ヒール・トー・ポイントと位置交代

男女とも左足を前にヒール・ポイント [1, 2]、その左足を戻して右踵後方でトー・ポイント [3, 4]。右手を離し、左手はつないだまま、男子は左手で女子をリードしながらその場で3歩足踏みをして円内へ送り、女子は左足から3歩で左まわりに1/2回転して円内に入って逆LODを向き [5~7]、休む [8]。……………8呼間

### II. ヒール・トー・ポイントとパートナー・チェンジ

左手連手のまま男女とも右足を前へヒール・ポイント [1, 2]。その右足を戻して左踵後方でトー・ポイント [3, 4]。次いで空いている右手を斜め前に伸ばして、男子は1人前の女子、女子は1人後ろの男子とつなぎ、パートナーとの連手を解いて右足から3歩で新しいパートナーと最初の隊形となり [5~7]、休む [8]。……………8呼間

### III. ウォークと円外へサイド・ステップ

男女とも左足からスロー・ウォーク2歩でLODへ進み [1~4]、左足をさらにステップ [5]、右足は左足のそばを通過して右横へステップ [6]、次いで左足を右足に閉じ [7]、休む [8]。(カウント:SSQQS)……………8呼間

### IV. ウォークと円内へサイド・ステップ

男女とも右足からスロー・ウォーク2歩でLODへ進み [1~4]、右足をさらにステップ [5]、左足は右足のそばを通過して左横へステップ [6]、次いで右足を左足に閉じ [7]、休む [8]。(カウント:SSQQS)……………8呼間

以上をくりかえす。

#### ◆留意点

- 1) Iで男子が女子を円内へリードするとき、女子が動きやすいように、男子は足踏みしながら少し右へ移動する。
- 2) IIIとIVのカウントでSはスローを意味し2呼間、Qはクイックを意味し1呼間で行う。
- 3) IIIとIVのスロー(S)のときは足幅をやや大きく、クイック(Q)のときはやや小さめに行う。